

令和6年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	平塚市手をつなぐ育成会	
2 事業名	ともいきスペース事業	
3 コース区分 ・ 補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。) 入門コース ・ 発展コース	10万円
4 実施期間	(開始期日) 2024年 4月 1日 ~ (完了期日) 2025年 3月 31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	・ 10年前よりインクルーシブ遊具について要望してきましたが昨年3月総合公園内に「みんなの広場」が完成しました。意見交換にも毎回参画しましたが、会員の中に乳幼児を持つ若い保護者がいません。育成会として「みんなの広場」ができて私たちの声が届いて終わりではなく、何か繋がりを持てる場所が必要でした。令和5年3月をもって今の活動拠点を閉じますが令和4年度実績でのべ1468名の来所者があり、今後も育成会の会活動を紹介できる場所を必要としています。また若い世代の会員が増えることで全世代の声を行政に届けられることを目的としています。 ・ 自分たちの経験から乳幼児の時は知的障害という判断はつかないまま育児をしています。生まれてすぐ障がいが見つかった場合でもそうでない場合も知的や発達障害等を持つお子さんの保護者は他のお子さんと比べてすべて遅れている、ちょっと変わっている？と悩んでいる初期段階でした。「みんなの広場」を利用する保護者もそのような方が多いのではないかと思います。育成会として経験したからこそ保護者の気持ちに寄り添えたらと考えます。 ・ お子さんの気持ちの安定につながることを私たちは成功や失敗を繰り返しながらも多くの家族から学ぶことができました。親子が笑顔で過ごせるためには保護者や周囲が子どものありのままを受容し理解を深めることが大切です。「みんなの広場」があり、障がい者が働く福祉事業所であるかざぐるまレストラン内のスペースでともいきスペース事業を行うことは育成会会員だけでなく障がいのある親子にとっても情報交換・交流の場として必要であると考えています。	
6 実施した内容 活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	①障がいのあるお子さんや保護者が居場所として利用できる取り組みとしては、障がいのあるなしに関わらず体育館やプールで来館された親子が利用できる場所になった。また福祉ショップかざぐるま様の利用者さんの休憩としても利用していただいた。 ②育成会活動への理解を広げる取り組みとしては、会報や研修会の案内などをスタンドに配架し、いつでも手に取れるようにした。 ③保護者の悩みなどを聞いたり、相談窓口としての取り組みとしては、障がい福祉相談員を毎月3～4日13時～14時を当番として配置したが不定期なことや主に平日の相談日から相談はなかった。 ④障がい等についての情報交換や啓発のための取り組みとしては、会報やホームページだけでなく、新たに Google マップにともいきスペースを掲載し、更新を行いながら情報発信、周知に努めた。これまで354件の閲覧があり、関心のある方が毎月増えてきていると感じている。 次年度はリーフレットを作成し、更にアピールしていく予定である。 ⑤手作り品販売は常時展示でき、かざぐるま様のご協力を得て販売を行った。 申請書の内容と相違のあったものについて ・ 5月22日オープン告知のためにチラシ・ポスターを作成し、会員や関係各所に広く周知した。 ・ お子さんの目に触れやすくするためおもちゃも収納できる本棚を購入した。 ・ 光熱費は福祉ショップかざぐるま様から年間使用量が前年度と差異が少なかったことから使用料金の請求がなかった。	

7 得られた 成果・効果 活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。 また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。	・福祉ショップかざぐるま様の場所のご提供を受け、ともいきスペース事業を実施できたことで、平塚市手をつなぐ育成会として新たな活動拠点を持つことができた。試行錯誤で令和５年度より整備を進めてきたが、補助金をいただいたことで目標が明確になり大きな整備をスムーズに進めることができた。 ・補助金申請を通して障害者団体以外の方にも育成会活動を知ってもらう機会を持つことができた。 ・総合公園や体育館の利用者にも少しずつではあるが利用していただけるようになった。 ・当初ともいきスペースに既存の照明は外されていたため、照明器具を令和５年度に購入し、そのための光熱費を申請していた。活動の中で照明の暗さを心配してくださり、かざぐるま様と市のご協力です新たに照明を設置していただきスペース全体を明るくしていただいた。 ・中間報告を行い、整備の振り返りができたことで不足しているものを見直し、充実した整備を後期に行うことができた。また次年度への課題や整備を見通すことができた。 ともいきスペースを通じて障害者や育成会への理解が広がるようこれからもしつかり対応していきたい。
8 反省点・課題 活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。 また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。	・中間報告でも課題としていたが、相談日が不定期だった為告知が行き届かなかった。 次年度は第１・３水曜日と土日祝日の内１回、合計３回を相談日として周知していく。 ・ともいきスペースの整備途中だったため、育成会のリーフレットがない状態である。次年度は整備されたともいきスペースの内容を入れ、育成会のリーフレットを新しく作成して、ともいきスペースにも配架し、広く周知に努める。 ・会員が来たいと思う場所にするためにはこの場所で会員が交流する機会を育成会の行事として作っていく必要があった。
9 今後の 事業展望等 活動・事業について今後も継続的に行うのであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。	・次年度からは周知を進め、利用者を増やし、障がいの情報発信地として皆さんから信頼され、多くの方と手をつなぎながら必要な方に重宝される場所にしていきたい。 ・育成会発行の手をつなぐ情報誌は、最新の正確な情報誌として全国の保護者や事業所にも購読していただいている月刊誌なので、今年度は補助金で購入できた。次年度からは育成会会費から捻出して継続する。 ・団体としてはこれまでと同様、本人活動の支援、季節の行事企画や、バス旅行などを行います。上部組織や市内の市民活動団体とも連携し、様々な活動や行政の会議等に市内外で参画していく。 ・福祉ショップかざぐるま様と継続的な関係を推進するため、育成会ができる事を増やし、お互い様となる関係づくりに努める。 ・育成会会員自身がともいきスペースを必要とするような空間づくりを更に進めていく。その為にも総合公園体育館などの育成会として利用し、立ち寄るような活動も視野に入れていきたい。 ・次年度は第１・３水曜を相談日と固定して、担当する３名も平塚市から委嘱を受けた障がい福祉相談員として活動を行う。

活動・事業の収支決算書

事務局記入欄	発展コース補助割合確認 ☐
--------	--------------------------------------

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

① 収入	項 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)	
	補助金	100,000	100,000	0	平塚市市民活動推進補助金	
	団体会員の会費	10,000	69	-9,931	団体会員年会費の一部を事業費に充当	
	収入合計	A 110,000	B 100,069	B - A -9,931	発展コース：補助対象経費 円 × % = 円 補助限度額 円	
② 支出	項 目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
	消耗品費	50,000 (50,000)	71,296	71,296 (71,250)	21,296	椅子 6,868 円 テーブル 16,678 円 スタンド 6,400 円 ボード用・展示用備品 2009 円 ソファークバー 3,259 円 看板材料費 8,810 円 本棚 7,999 円 ボード 6,970 円 オープンチラシ 1,010 円 ポスター 3,000 円 玩具 2,980 円 2,513 円 人形 2,800 円
	図書費	50,000 (50,000)	28,773	28,773 (28,750)	-21,227	絵本 8 冊 12,273 円 障害に関する本 11 冊 12,600 円 情報誌 (年間) 3,900 円
	光熱費	10,000 (0)	0	0 (0)	-10,000	電気使用料に大きな変化がなく料金が発生しないことになった
		()		()		
		()		()		
	支出合計	C 110,000 (100,000)	D 100,069	100,069 (100,000)	D - C -9,931	
③収支決算額 B 100,069 円 - D 100,069 円 = 0 円					【備考】	

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



↑入り口には**ボード**を設置し、ともいきスペースの毎月の案内をしています。手作り品の販売はかざぐるまさんのご協力もあります。レストランのお客様がご購入くださっています。**スタンド**は会報だけでなく研修会の案内や障害の種別に関わらず情報を発信しています。平塚盲学校からも配架の依頼がありました。お子様用の椅子も用意しています。季節を感じ、癒される場所になれることを願っています。

活動・事業実施状況

知的障がい児者ご本人達の作品を展示しています。今回、支援学校高等部在学中にご本人さんがタピポんで、「**ともいきスペース**」、「**手をつなぐ育成会**」の**すてきな看板**を製作してくれました。他にも季節に合わせたタピポン作品を展示しています。**お人形のはんちゃん**が出迎えてくれ、ソファで**絵本**を読んだり**テーブル**で塗り絵や、**玩具**で遊んで過ごしてもらいます。**収納付きの椅子**には相談員が座り、皆さんのお話を聞かせてもらいます。



↑お子さんが手に取りやすい**本棚**には小さなお子さんだけでなく**知的障害者が読んでも楽しめる絵本**など多く取り揃えました。育成会発行の**障害に関する本**も多く取り揃え障害があってもなくても誰もが一人で来ても親子できても笑顔でゆったり過ごせる場所になりました。↓



令和6年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	城島地区地域活動推進会議	
2 事業名	地域資源活用による交流型体験の里づくり事業	
3 コース区分 ・補助額	（以下のどちらかのコースを○で囲んでください。） 入門コース ・ 発展コース	8 万円
4 実施期間	（開始期日） 令和6年4月1日 ～ （完了期日） 令和7年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	農業を主産業とする当地区であるが、少子高齢化により農家の後継者不足が深刻で、耕作放棄地が急速に広がっている。全地域が市街化調整区域のため、開発の見込みはなく、スーパー等の生活支援施設が極めて少なく、交通の利便性も悪い。当地区の中央を走る県道のバスの本数は、1時間に1本である。こうした環境のため、若者離れが生じ、人口減少に歯止めがかからず過疎化が進んでいる。近い将来、地域コミュニティの崩壊が危惧されている。過疎化、若者離れ、人口減少の悪循環から是非とも脱却したい。 このためには、令和2年度から昨年度まで実施してきた「地域資源活用による交流型体験の里づくり事業」の取組みを継続し、当地区の魅力を地区内外に発信していく努力が大切と思う。取組みへの努力により、郷土の魅力に気付く住民や当地区への交流人口が増加するものと思う。交流人口の増加により、定住人口の増加も期待される。	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	1. 「きじマルシェ」 地域内外の多くの人を当地区に呼び込み、当地区の魅力を広く知ってもらうために、11月30日にマルシェを開催し、城島の魅力の紹介や平塚のブランド米「はるみ」等の農産物の販売を行った。来訪者約400名 2. 米づくり体験・野菜収穫体験 生産組合、湘南ライスセンター、JA湘南、地域のボランティア等の協力で、全4回（5月19日、6月15日、10月12日、11月16日）実施した。11家族が参加 3. 城島地区の将来像を考える意見交換会・研修会（仮称） 第1回を10月19日に、第2回を3月30日に講演会・意見交換会として実施した。内容はいずれも地域活性化に関する講師による講演と講演をもとに参加者が意見交換を行うというものであった。当初3回の実施を考えたが、地域の行事の調整が困難だったこと等により2回の実施となった。	

7 得られた 成果・効果 活動・事業を実施した ことで良かった点、得 られた成果、確認され た効果などについて記 入してください。 また、アンケート等で 参加者や受益者（サー ビスを受けた方）の評 価がわかる場合は、記 入してください。	1. 「きじマルシェ」 地域内外の多くの人を当地区に呼び込み、当地区の魅力を広く知ってもらおうという 目的は達成できた。親子連れが多く訪れたので、高齢化・過疎化進む当地区に活気が よみがえった。毎年このイベントに来るのを楽しみにしているという家族もいた。 昨今の農産物高騰の影響で、農産物の販売は盛況で、特に平塚のブランド米「はる み」は、開幕早々に完売となった。 2. 米づくり体験・野菜収穫体験 子どもや子育て世代に、当地区の魅力の1つである農の体験を通じて、身をもって 当地区の魅力を知ってもらおう目的は達成できた。同時に、参加者に自然とのふれあいの 楽しさや大切さも実感してもらえたと思う。 参加者へのアンケートで、89%が「来年も参加したい」と回答している。 3. 城島地区の将来像を考える意見交換会・研修会（仮称） 当地区の将来像や地域活性化に向けて活発な協議ができたと思う。講演内容や意見 交換を通して、今後の地域活性化に向けて参考になる多くの情報を得ることができ た。
8 反省点・課題 活動・事業を実施した 結果、反省点や課題と してあげられる事項に ついて記入してくださ い。 また、反省点や課題の 改善方法を検討した り、解決を図った場合 は、その内容を記入し てください。	1. 「きじマルシェ」 地域学校協働活動（神奈川県生涯学習課所管事業）を通して、平塚農商高校と連携 しているが、学校行事と重なり高校生の参加がなかった。地域の行事と学校行事との 調整が難しさを実感させられた。年度当初に調整する必要があるが、当地区のスタッ フの高齢化と人手不足で、年度末に次年度の事業実施計画を策定するのは困難な状況 にある。 2. 米づくり体験・野菜収穫体験 担当スタッフのボランティアで実施してきているが、高齢化が進み、体験事業を実 施する農地の管理が難しくなっている。 3. 城島地区の将来像を考える意見交換会・研修会（仮称） 参加者は高齢者が多く、固定化してきているので、地域活性化に向けての協議に、 次世代をいかに呼び込むかが課題である。将来像については、当地区は全域が市街化 調整区域であるため、地域住民だけで協議を深化させるのは難しい状況である。
9 今 後 の 事業展望等 活動・事業について今 後も継続的に行うもの であれば、その計画 や、団体としての今後 の活動計画・事業展望 等を記入してくださ い。	3月30日実施の第2回「城島地区の将来像を考える意見交換会・研修会（仮称）」において、行 事の見直し・精選等が協議のテーマになった。協議の結果をもとに、新年度早々に今後実施する 事業と実施内容を詰めていきたい。 1. 「きじマルシェ」は、地域外から人を呼び込むための最大のイベントであるが、高齢化と人 手不足でスタッフの負担感が大きいので、規模の縮小や他の行事と合同開催にするなど再構築も 考えている。 2. 米づくり体験・野菜収穫体験 参加者には好評のイベントであり、子どもたちにとって農体験は大切なことと思うので、本イ ベント継続の意義は大きい。体験農地の管理に多大な労力を要するなど課題も多い。「米づく り体験」と「野菜収穫体験」を分離するなど、抜本的な見直しが必要との意見が出ている。 3. 城島地区の将来像を考える意見交換会・研修会（仮称） 講演会・意見交換会は、地域活性化に向けて住民の意識啓発に有効であるので、今後も実施し ていきたい。ただし、参加者は高齢者が多く、固定化してきているので、次世代をいかに呼び込 むかが課題である。将来像については、当地区は全域が市街化調整区域であるため、地域住民だ けで協議を深化させるのは難しい状況である。

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄

発展コース補助割合確認 ☐

① 収 入	項 目	予算額 (円)		決算額 (円)		増減額 (円)		具体的な内容 (積算根拠等)			
	補助金	80,000		80,000		0		平塚市市民活動推進補助金			
	参加費	200,000		120,000		-80,000		米づくり・野菜収穫体験参加費 10,000円×12家族=120,000円			
	事業収益	30,000		32,496		2,496		マルシェの売上			
	収入合計	A	310,000	B	232,496	B-A	-77,504	発展コース：補助対象経費 円 × % = 円 補助限度額 円			
② 支 出	項 目	予算額 (円) (うち補助金額)		決算額 (円)		補助対象経費 (円) (うち補助金額)		増減額 (円)		具体的な内容 (積算根拠等)	
	消耗品費	(20,000 0)		1,204	(0 0)		-18,796	ポリ袋1,204円			
	物品購入費	(30,000 0)		15,225	(11,000 11,000)		-14,775	苗 (大根、大まさり (落花生)、紅はるか (さつまいも)、キャベツ、ブロッコリー) 15,225円			
	謝金	(80,000 30,000)		31,581	(19,000 19,000)		-48,419	謝金19,000円、お礼品12,581円			
	印刷費	(30,000 30,000)		30,730	(30,730 30,000)		730	チラシの作成・コピー及び印刷代30,730円			
	旅費・交通費	(30,000 0)		4,100	(0 0)		-25,900				
	使用料・借上げ料	(100,000 20,000)		108,032	(20,000 20,000)		8,032	耕運、代かき、田植え、除草剤、駆除剤、コンバイン、乾燥・追肥肥料及び作業代、畦草刈り93,032円、地代15,000円			
	飲食費	(20,000 0)		41,624	(0 0)		21,624	会議におけるお茶、茶菓子14,324円、会席費用等27,390円			
	支出合計	C (80,000)	310,000	D	232,496	(80,730 80,000)	D-C	-77,504			
③収支決算額		B	232,496 円	-	D	232,496 円	=	0 円	【備考】		

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

きじまルシェ R6.11.30



米づくり・野菜収穫体験



意見交換会・研修会



令和6年度 平塚市市民活動推進補助金事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	湘南ダンベル体操協会	
2 事業名	ダンベル体操による健康づくりの推進	
3 コース区分 ・補助額	（以下のどちらかのコースを○で囲んでください。） 入門コース ・ <u>発展コース</u>	26 万円
4 実施期間	（開始期日） 令和6年4月1日 ～ （完了期日） 令和7年3月25日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	人生100年時代、超高齢化の中で元気な高齢者を増やすため介護予防事業の視点で健康づくりの推進が求められてきています。ダンベル体操は、子どもから高齢者まで誰もが気楽に楽しく参加できる健康体操です。今までNPO法人湘南ダンベル体操協会として20年以上ダンベル体操の推進と普及を図ってきましたが、令和5年10月、法人を解散し新たに任意団体「湘南ダンベル体操協会」として再出発しました。事業の目的は 1, 高齢者の筋力強化を図り、腰痛や手足のしびれ、痛みの解消などに取り組み、介護予防として元気な高齢者を増やし、医療費の抑制につなげていきたい。 2, 指導員や普及員などの担い手を育成する。会員の高齢化に伴い次世代につながる人材の確保のため。 3, 子どもから高齢者まで誰もが手軽にどこでもできる楽しいダンベル体操をめざします。	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	1, 握力計5台や体組成計2台を購入し、地区公民館でダンベル体操教室に参加している高齢者の筋力強化の状況把握をおこない、効果の検証をおこなった。市内5教室で実施しました。 2, 指導員や普及員などの担い手育成のため、認定指導員講習を開催、令和7年2月8日（土）と2月15日（土）の2回、サン・ライフアリーナで開催。7名参加。 3, 玄米ダンベル体操のつどい2024を10月20日（日）トッケイセキュリティ平塚総合体育館で開催、161名参加、エンジョイダンベルの理念のもと、広域的なつながりと会員どうしの絆を深めました。また、講師も大阪から森ノ宮医療大学教授橋本弘子氏を招き「脳の活性化による認知症予防について」実技を交え、貴重なお話をいただきました。 4, 平塚市民スポーツフェスティバルに令和7年3月23日（日）トッケイセキュリティ平塚総合体育館で開催。今年は72名と大幅に市民が参加。昨年参加して楽しかったのが今年も親と参加したとの子どもの声を聞いて、スタッフ一同感激しました。貸ダンベルを活用し、子どもから高齢者までダンベルの普及に貢献出来ました。	

7 得られた 成果・効果 活動・事業を実施した ことで良かった点、得 られた成果、確認され た効果などについて記 入してください。 また、アンケート等で 参加者や受益者（サー ビスを受けた方）の評 価がわかる場合は、記 入してください。	* 初めて握力計や体組成計を購入して筋力の強化の状況をチェックできたことは、会員のダンベル体操の筋力強化の意識の高まりが見られ、良かったと思います。毎月測定するわけではないが、特に新会員の方の取り組み姿勢に良い変化が生まれました。 * 貸しダンベルとして、60組を購入したが、8月2日の湘南ロータリークラブ（40名）や9月10日の商工会議所婦人部（20名）での卓話と実技指導をはじめ、3月23日の平塚市民スポーツフェスティバルへの参加（72名）で多くの市民に実技指導を通じ、ダンベルの理解が深まりました。 * 10月20日、トッケイセキュリティ平塚総合体育館で開催された玄米ダンベル体操のつどいについては、プログラムの作成費、通信費等経費の大幅な削減が出来、また、エンジョイダンベルとして会員相互の融和と連帯感がめばえ、ダンベル体操の普及と拡大に寄与。さらに今回は大阪から講師として森ノ宮医療大学の橋本弘子教授の脳の活性化による認知症予防について実技と講話を熱く語っていただき、大変参考になり、各教室でも取り入れの方向です。
8 反省点・課題 活動・事業を実施した 結果、反省点や課題と してあげられる事項に ついて記入してくださ い。 また、反省点や課題の 改善方法を検討した り、解決を図った場合 は、その内容を記入し てください。	ダンベル協会役員の担い手解消に向けた取り組みは進まなかった点は大きな課題である。また、市内でのダンベル体験教室は、例年になく活気を帯びていたが、市内14か所で開催されているダンベル教室の新規会員増加は、少なかった。50歳代60歳代の新規加入促進が求められます。。そのため、現在のダンベル教室を維持できるか不透明で、大きな問題です。最後に、ダンベルは筋力の強化には効果的ですが、握力計などによる効果測定は半年ではなく数年単位で検証する必要があり、時間がかかります。継続は力ですので、長い目で見なければいけないと考えます。
9 今 後 の 事業展望等 活動・事業について今 後も継続的に行うもの であれば、その計画 や、団体としての今後 の活動計画・事業展望 等を記入してくださ い。	ダンベル体操教室のための会場確保が、今後、平塚市の公共施設の統廃合や改装などの計画があることから、地区公民館の利用が競争激化で困難になる可能性が高くなります。ダンベル体操による健康づくりの推進をどうすすめていくか、大きな問題です。また、ダンベル体操協会の役員が高齢で家族介護の問題等かかえており、世代交代を含め、事業の縮小等検討する時期と考えます。今後の活動計画は、①地区公民館でのダンベル体操教室の充実（筋力強化、腰痛。転倒防止など）②指導者育成 ③ダンベル体操のつどい2025の開催、（会員の融和と連帯を図る）④新会員の確保、⑤情報発信 など求められます。

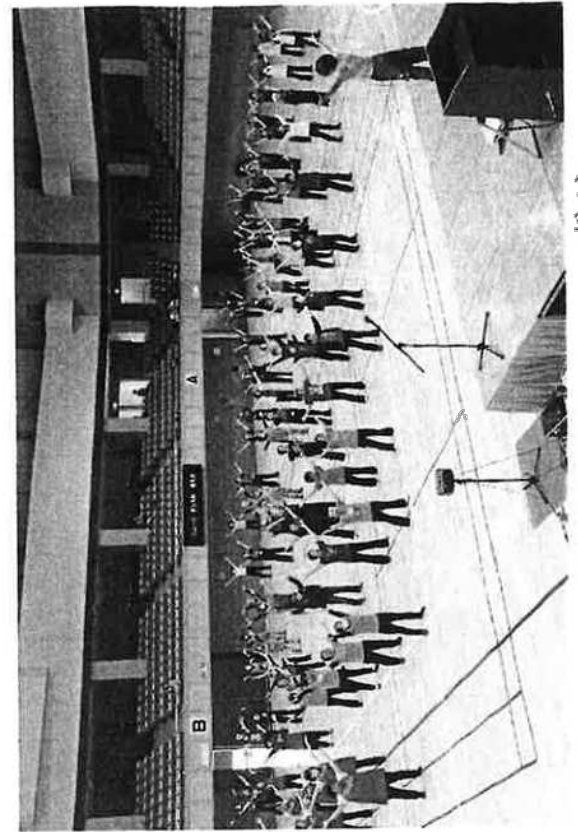
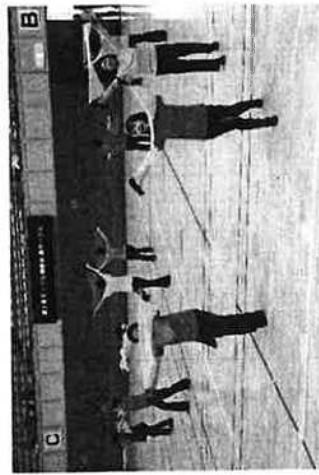
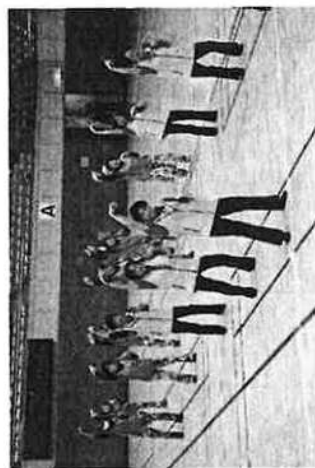
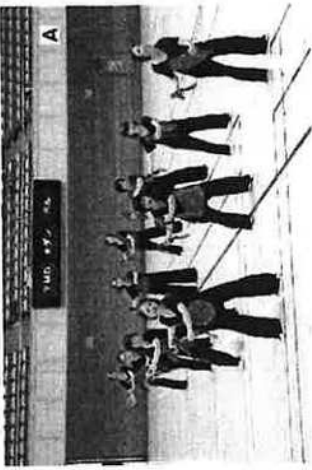
活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄	発展コース補助割合確認 ☐
--------	--------------------------------------

① 収 入	項 目	予算額 (円)		決算額 (円)		増減額 (円)		具体的な内容 (積算根拠等)			
	補助金	260,000		260,000		0		平塚市市民活動推進補助金			
	参加費	136,000		93,643		-42,357		ダンベル体操大会参加者（1 5 1 人）からの参加費一部			
	収入合計	A	396,000	B	353,643	B－A	-42,357	発展コース：補助対象経費 353,643 円 × 90 % = 318,278 円 補助限度額 260,000 円			
② 支 出	項 目	予算額 (円) (うち補助金額)		決算額 (円)		補助対象経費 (円) (うち補助金額)		増減額 (円)		具体的な内容 (積算根拠等)	
	消耗品費	(30,000 10,000)		40,843	(40,843 20,000)		10,843	ラインテープ3,409円 芳名帳＋養生テープ1,287円 ラミネートフィルム4,356円 参加賞ボールペン31,791円			
	通信費	(45,000 25,000)		24,414	(24,414 20,000)		-20,586	つどいのお知らせ切手代20,124円 指導者講習会切手代3,630円 振込手数料330円×2回			
	会場使用料	(60,000 25,000)		39,400	(39,400 20,000)		-20,600	大会会場費18,600円 大会設備費4,600円＋10,000円 救護担当者謝礼5,000円 大会打合せ会場費600円 指導員講習会600円			
	講師謝礼	(80,000 40,000)		78,120	(78,120 78,000)		-1,880	講師謝礼（大阪からの交通費を含む）78,120円			
	印刷費	(141,000 65,000)		99,480	(99,480 62,000)		-41,520	大会冊子50,050円 横断幕47,960円 他コピー代1,470円			
	備品購入費	(70,000 60,000)		20,386	(20,386 20,000)		-49,614	体組成計 2 台5,970円 握力計 5 台14,416円			
	玄米ダンベル購入費	(87,000 35,000)		51,000	(51,000 40,000)		-36,000	玄米ダンベル 6 0 組			
		()			()						
		支出合計	C (513,000 260,000)		D 353,643	(353,643 260,000)	D－C	-159,357			
③収支決算額 B 353,643 円 － D 353,643 円 ＝ 0 円											【備考】

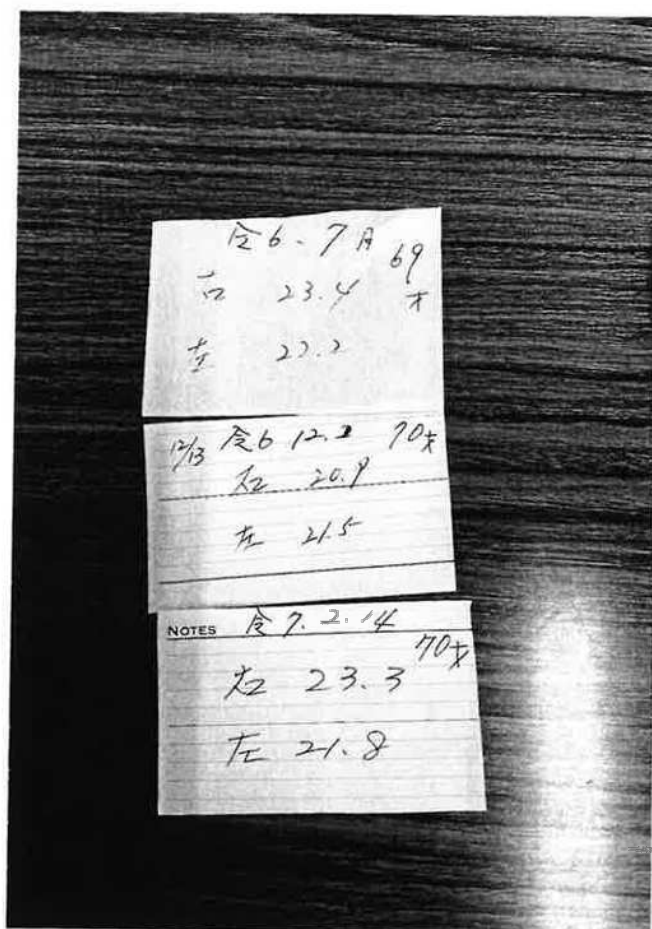
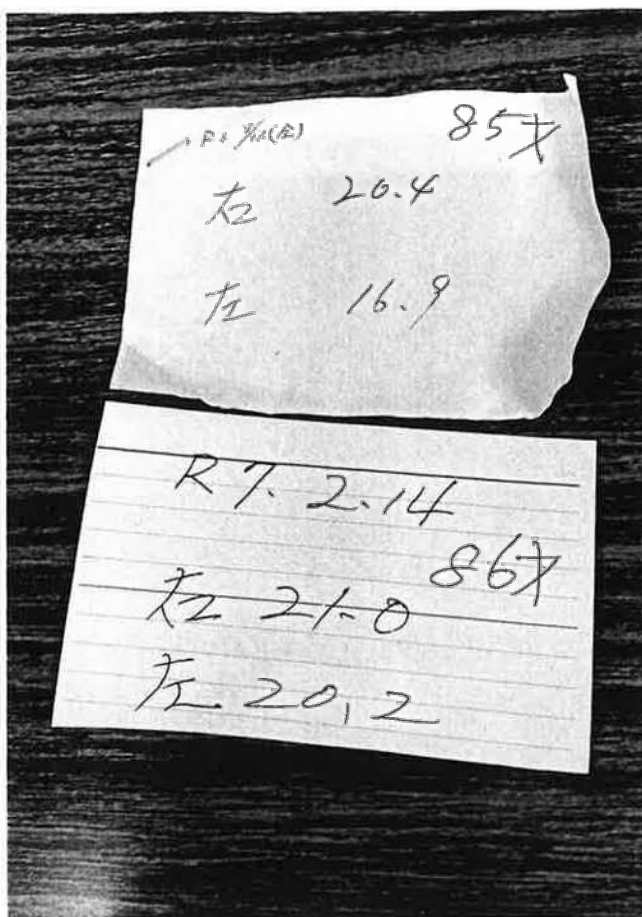
※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



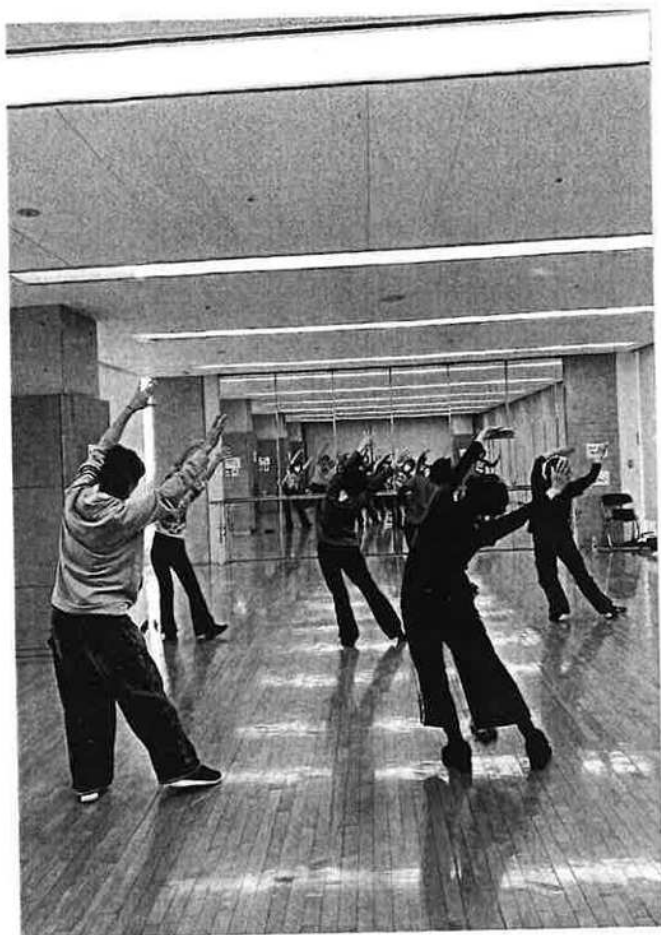
10月1日 木曜日 10月20日 火曜日



体組成計



握力測定



令和7年2月8日
指導員講習会